



## 平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 東亜合成株式会社

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川 和明

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	35,036	△6.4	2,812	△16.0	2,893	△14.2	1,713	△18.6
26年12月期第1四半期	37,433	6.2	3,348	△5.4	3,372	△10.2	2,104	△14.9

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 3,875百万円 (159.1%) 26年12月期第1四半期 1,496百万円 (△70.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	6.51	—
26年12月期第1四半期	7.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	204,092	160,182	76.2
26年12月期	201,168	157,349	75.9

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 155,556百万円 26年12月期 152,711百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	6.00	—	12.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成27年7月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定であるため、平成27年12月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成27年12月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円となり、1株当たり年間配当金は12円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,000	△1.3	6,500	6.8	7,000	9.2	4,500	5.8	17.09
通期	150,000	0.7	14,000	16.5	14,800	14.8	9,500	12.9	72.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成27年12月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成27年12月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は36円07銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	263,992,598 株	26年12月期	263,992,598 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	636,200 株	26年12月期	617,799 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	263,366,898 株	26年12月期1Q	263,483,780 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式併合後の配当および業績予想について)

当社は、平成27年3月27日開催の第102回定時株主総会において、単元株式数の変更、株式併合について承認可決され、平成27年7月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施する予定です。なお、株式併合考慮前に換算した平成27年12月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成27年12月期の配当予想
  - 第2四半期末 6円(注1)
  - 期末 6円(注2)
2. 平成27年12月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益
  - 第2四半期末(累計) 17円09銭
  - 通期 36円07銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。  
 (注2) 株式併合考慮前に換算した配当額であります。  
 (注3) 平成27年12月期の年間配当金(株式併合考慮前)は12円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### (ア) 当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間（平成27年1月1日から平成27年3月31日まで）における当社グループの業績は、売上高は350億3千6百万円（前年同期比6.4%減収）、営業利益は28億1千2百万円（前年同期比16.0%減益）、経常利益は28億9千3百万円（前年同期比14.2%減益）、四半期純利益は17億1千3百万円（前年同期比18.6%減益）となりました。

#### (イ) セグメント別の業績

##### ①基礎化学品事業

苛性ソーダおよび無機塩化物は、製品価格が弱含みで推移したとともに、総じて販売数量は減少し低調に推移しました。無機高純度品は、主力の半導体向けの販売が引き続き好調に推移しました。硫酸は、一部用途の需要が低調で減収となりました。工業用ガスは、ほぼ前年並みに推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は107億7千2百万円（前年同期比1.0%減収）となりました。

営業利益は、無機高純度品の増収、固定費の圧縮などにより、7億6千7百万円（前年同期比47.5%増益）となりました。

##### ②アクリル製品事業

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、アジア市場、日本国内とも需給アンバランスによる競争激化の影響などから大幅に減収となりました。アクリル系ポリマー、高分子凝集剤ならびに光硬化型樹脂は、全般的に需要は堅調でしたが、原料価格の下落に伴い製品価格は弱含みで推移し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は129億5千3百万円（前年同期比11.6%減収）となりました。

営業利益は、設備投資に伴う減価償却費の増加に加え、アクリル酸エステルの市況下落により収益が悪化し、5億8千8百万円（前年同期比56.8%減益）となりました。

##### ③機能製品事業

接着剤は、一般用瞬間接着剤は在庫調整等の影響により販売は低調でしたが、携帯端末向けなど機能性接着剤の販売が好調を維持し、全体では増収となりました。建築・土木製品と無機機能材料の販売数量は低調に推移しました。エレクトロニクス材料は、シリコン系高純度ガスの販売数量が好調に推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は43億8千万円（前年同期比6.7%増収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤やシリコン系高純度ガスの販売数量が増加したことなどから、11億1千2百万円（前年同期比25.4%増益）となりました。

##### ④樹脂加工製品事業

管工機材製品は、消費増税後から続く住宅着工件数低迷の影響などから販売数量が減少し、低調に推移しました。ライフサポート製品は、全般的な需要の低迷を受けて販売数量が減少しました。エラストマーコンパウンドは、全般的に需要が底堅く、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は62億円（前年同期比11.1%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の販売数量が減少したことなどから、3億3千2百万円（前年同期比40.6%減益）となりました。

##### ⑤その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は7億3千万円（前年同期比11.1%減収）、営業損失は1千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産合計は、手元流動性などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ29億2千4百万円、1.5%増加し、2,040億9千2百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末とほぼ同水準となり、439億9百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上および「その他有価証券評価差額金」などが増加しましたため、前連結会計年度末に比べ28億3千3百万円、1.8%増加し、1,601億8千2百万円となり、自己資本比率は76.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月5日に公表した予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が1,003百万円増加し、利益剰余金が647百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,117	19,632
受取手形及び売掛金	42,403	40,086
有価証券	25,500	26,500
たな卸資産	17,490	16,608
繰延税金資産	757	740
未収還付法人税等	218	20
その他	1,852	1,127
貸倒引当金	△42	△38
流動資産合計	104,297	104,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,792	19,751
機械装置及び運搬具(純額)	25,217	24,234
土地	17,805	17,805
その他(純額)	3,277	3,364
有形固定資産合計	66,092	65,156
無形固定資産		
のれん	19	16
その他	559	545
無形固定資産合計	578	562
投資その他の資産		
投資有価証券	25,670	28,269
退職給付に係る資産	599	1,761
その他	3,983	3,719
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	30,199	33,695
固定資産合計	96,870	99,414
資産合計	201,168	204,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,704	14,894
短期借入金	2,885	2,885
未払法人税等	582	528
引当金	16	515
その他	8,189	7,799
流動負債合計	27,379	26,622
固定負債		
長期借入金	10,349	10,349
退職給付に係る負債	154	156
役員退職慰労引当金	20	—
その他	5,915	6,781
固定負債合計	16,439	17,286
負債合計	43,818	43,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,798	16,798
利益剰余金	106,306	107,086
自己株式	△230	△240
株主資本合計	143,760	144,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,249	8,322
為替換算調整勘定	2,306	2,280
退職給付に係る調整累計額	395	422
その他の包括利益累計額合計	8,951	11,025
少数株主持分	4,637	4,625
純資産合計	157,349	160,182
負債純資産合計	201,168	204,092



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	37,433	35,036
売上原価	28,148	26,552
売上総利益	9,284	8,483
販売費及び一般管理費	5,936	5,671
営業利益	3,348	2,812
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	25	57
持分法による投資利益	76	79
固定資産賃貸料	42	49
その他	54	32
営業外収益合計	207	231
営業外費用		
支払利息	30	28
為替差損	23	29
遊休設備費	35	29
環境整備費	20	21
その他	75	41
営業外費用合計	183	149
経常利益	3,372	2,893
特別利益		
補助金収入	—	78
特別利益合計	—	78
特別損失		
固定資産処分損	19	93
特別損失合計	19	93
税金等調整前四半期純利益	3,352	2,878
法人税等	1,171	1,083
少数株主損益調整前四半期純利益	2,181	1,795
少数株主利益	77	81
四半期純利益	2,104	1,713

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,181	1,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△371	2,073
為替換算調整勘定	△313	△20
退職給付に係る調整額	—	27
その他の包括利益合計	△685	2,080
四半期包括利益	1,496	3,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,457	3,787
少数株主に係る四半期包括利益	38	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,883	14,652	4,105	6,970	36,611	821	37,433	—	37,433
セグメント間の内部 売上高または振替高	8	28	122	3	163	1,844	2,007	△2,007	—
計	10,891	14,680	4,228	6,974	36,775	2,666	39,441	△2,007	37,433
セグメント利益または セグメント損失 (△)	520	1,361	887	559	3,329	△5	3,323	24	3,348

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基礎化学 品事業	アクリル 製品事業	機能製品 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,772	12,953	4,380	6,200	34,306	730	35,036	—	35,036
セグメント間の内部 売上高または振替高	7	24	155	0	187	1,753	1,940	△1,940	—
計	10,779	12,977	4,536	6,200	34,494	2,483	36,977	△1,940	35,036
セグメント利益または セグメント損失(△)	767	588	1,112	332	2,800	△10	2,789	22	2,812

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。